

修了生の声 ～社会で活躍する先輩方からのメッセージ～

質問 Q1 入校したきっかけは？ Q2 訓練校のおすすめポイントは？ Q3 就職活動はどのように行いましたか？ Q4 訓練期間を振り返っていかがでしたか？ Q5 修了後、現在仕事で役立っている技術技能は？ Q6 どんな会社ですか？ Q7 どのような仕事をしていますか？ Q8 現職のやりがい？ Q9 会社を選んだポイントは？ Q10 今後入校する方へメッセージ！



青柳 勇樹さん

H29年 NC 機械加工科
日本ファブテック株式会社 勤務

A10. 今、自分自身の夢が決まらなくても、我孫子高等技術専門校に入校すれば、色々な資格を取得することができ、自然と自分のやりたいことが見つかると思います。

- A1. 小さな頃からものづくりがとても好きで当時の高校の担任の先生に紹介していただきました。
- A2. 在学中には資格が取得できるだけでなく技術も身につくところです。
- A3. 1年間を通して学んだ事の中で自分の強みや目標が産まれてきたのでそれらを活かして面接の練習など行いました。
- A4. 訓練期間中は毎日がとても充実していて本当にあっという間に一年が経ってしまいました。担任の先生もとても親身になって相談などに乗ってくださいとても人生においてプラスになった訓練期間でした。
- A5. 現在の仕事では溶接作業をしているため、訓練校でガス溶接技能講習とアーク溶接特別教育を取得したことはもちろん図面の読み方なども訓練校で学んだのでとても役に立っています。
- A6. 職場には沢山の部署などがあり自分のいる最終工程の本溶接の職場はみんな優しく、和気あいあいのびのび仕事をすることができます。同じ職場には同期がいないのですが他の部署との交流も、もてる為とてもいい職場だと思います。
- A7. 主に橋梁の溶接をメインで行っています。
- A8. 一人で橋梁を作る訳ではなく各職場全員で協力しながらみんなで手を取り合って作って行くところです。
- A9. 幼い頃から地図に残る仕事をしたいとずっと思っていてそのことを専門校の先生に相談したところ今の会社を紹介していただきました。



なかじま
中隋 浩さん

H19年 造園科(6ヶ月コース)
株式会社セレス 勤務

- A9. 社員という立場での雇用、専門校からの紹介であったことです。社内に専門校の卒業生が多くいたことも大きかったです。
- A10. 雇用保険の受給を受けながら学べ、年齢や立場に関係なく、一学生として学ぶことができるのは、一度社会経験をしてからの自分にとって、新鮮で有意義な期間です。もう一回通ってもいいです。

- A1. ハローワークでパンフレットを見つけ、その後に個人的に専門校に問合せ、実際に見学をして、興味がわいたので入校しました。
- A2. 他業種からの転職だったので、それこそ地下足袋の履き方すらわかりませんでした。基本的な道具の使い方から、作業での体の使い方まで学べます。卒業後も他の卒業生とのつながりが出来ます。
- A3. 専門校での面談後、現職場を紹介してもらいました。
- A4. 自分には合っていたんだと思います。通うのが楽しかったです。様々な社会経験を積んだ人生の先輩方と同じ立場になって、一学生として学んでいくのは、よい経験となりました。
- A5. ロープワークというか、“結ぶ”という作業が造園業には多いので、現場に出る前にその技術を修得していると役立ちますし、先輩方からも重宝されます。
- A6. エネルギー分野から、環境分野まで幅広いサービスを提供している会社です。
- A7. 研究機関の構内緑化などの環境整備をしています。立場としてはその現場責任者です。
- A8. 自分で考えて、作業した樹木が育ち、思い通りに花が咲き、枝が太くなっていくと嬉しいです、やりがいを感じます。



大木 誉也さん

H30年 造園科(1年コース)
株式会社昌造園 勤務
第56回技能五輪全国大会
(沖縄大会)千葉県代表

A10. 一年間はアツという間に過ぎてしまうので、今思うと「あの時もっと真剣に勉強していればよかったなあ」と思うので、ひとつひとつの作業を大切に頑張ってほしいです。そして、いざ現場に出て学んできたことを発揮しようとしても、忘れていくことが多いので、メモなどを残しておくことがとても大切だと思います。

- A1. 実家が造園業を営んでおり、自分も将来造園に携わる仕事がしたく、高校の先生に我孫子高等技術専門校を紹介して頂いたので入校しました。
- A2. 授業内容が実際の仕事に通ずる部分が多く、いざ実践の場で覚えたことが役に立ち、仕事の流れやポイントを掴みやすくなると思います。
- A3. 訓練校で様々な活動をしていく中で、自分で庭園を造ってみたいという希望があり、そのようなことを多くしている会社を先生方に探して頂き、会社見学などを通して就職活動を行いました。
- A4. 四ツ目垣を最初に造るのですが、竹の「元」と「末」の見分けやシュロ縄の結び方、整地の仕方など、一つのを完成させるまでに基本的な要素がたくさんあるので、最初がとても重要だと思いました。訓練を重ね、千葉県代表として技能五輪全国大会に出場したこともとても貴重な経験になりました。
- A5. 石を多く使う仕事内容なので、飛び石の据え方・天端の出し方・石張りの知識などが特に役立っています。他にも植栽配置の仕方、石組他、支柱の取り付け・根巻きの仕方など様々なことが役に立っています。
- A6. 入社した会社は本格的な庭づくりを手掛けている職場環境なのと、造園をやりたいという若い先輩たちがたくさんいて、非常に楽しく仕事をしています。さらにお客様の要望を第一として考え、納得とご理解を頂くまで最善を尽くして、ひとつのものを完成するまで寄り添うことのできる会社です。
- A7. 植木の管理はもちろん、庭づくりの仕事が多いです。特に、石張りや石積み・石組みなど、石を使う仕事をしています。
- A8. 毎日毎日、変わった仕事をさせて頂いているので知らなかった事を学ぶことができ、とてもためになっています。さらに、ひとつのものを完成させたときの達成感や充実感、お客様の喜んだお顔を見ると、他には無いとてもいい仕事だなと感じております。
- A9. 本格的な庭づくりを手掛けている会社として先生方に薦められ、会社見学に伺った際、天端がしっかりと出た石積みの現場を拝見し、自分でも造ってみたいと強く思った点や民間の仕事が主なので、たくさんの方が身につくと感じたのがポイントです。



写真/第56回技能五輪全国大会



山崎 翔太さん

H30年 事務実務科
ANAウィングフェローズ・
ヴァイ王子株式会社 勤務

A10. パソコンの操作、就職に向けた活動方法、ビジネスマナーや障がいへの理解を学べます。日常生活や訓練中の不安なども先生方が親身になって相談を聞いてくれるので、ぜひ入校を検討してみてください。

- A1. 以前勤めていた会社を退職し、すぐに就職活動をするのではなく一度勉強してから再就職しようと思いました。勉強しながら就職活動ができて、さらにサポートもしてくれると知って入校しました。
- A2. 就職をするために必要なことやビジネスマナーが勉強でき、いろいろな年齢の人や自分とは違う障がい特性がある人たちと同じ教室で、助け合い競い合いながら訓練してお互い成長できるところです。
- A3. 求人票を見たり、面接会に参加するなどの活動をしました。特に担当の先生と一緒に自分の長所や短所、得意なこと苦手なことなどをよく相談して、自分に合う職場を優先して探しました。
- A4. 同級生と訓練をしながら接して、自分以外の障がいがある方への理解や配慮などが学べました。また、就職したら学べない、いろいろな場面でのマナーなどを怒られながらも全力で教えてもらえました。
- A5. 仕事でエクセルの作業が多いため、勉強したワードやエクセルはとても役立っています。でも実は電卓スキルが一番役立っています。指の使い方や基本から訓練できたおかげで今は見ないで操作できます。
- A6. 航空会社の特例子会社で勤務しています。空港内で乗務員の方や社員の方の制服の管理をする業務をしています。街中にあるクリーニングショップのようなイメージの職場です。
- A7. 制服や賞与品の管理、パソコンへのデータ入力などの仕事をしています。管理番号や入力操作を間違えないように集中して作業しています。
- A8. 自分で考え行動し、自主性のある職場なのでやりがいを感じます。また、予定外に忙しい場面もありますが、そういう時こそ障がいに対する配慮を感じて、会社のためにがんばろうと思えるのでやりがいを感じます。

